

計画の見直しに係るこれまでの経緯等

【経緯】

- 平成27年 3月26日 計画を公表（平成27年度供給計画に記載）
" 11月10日 兵庫県知事へ環境影響評価概要書を提出(当社の自主的な取り組み)
平成29年 1月31日 計画の見直しを決定



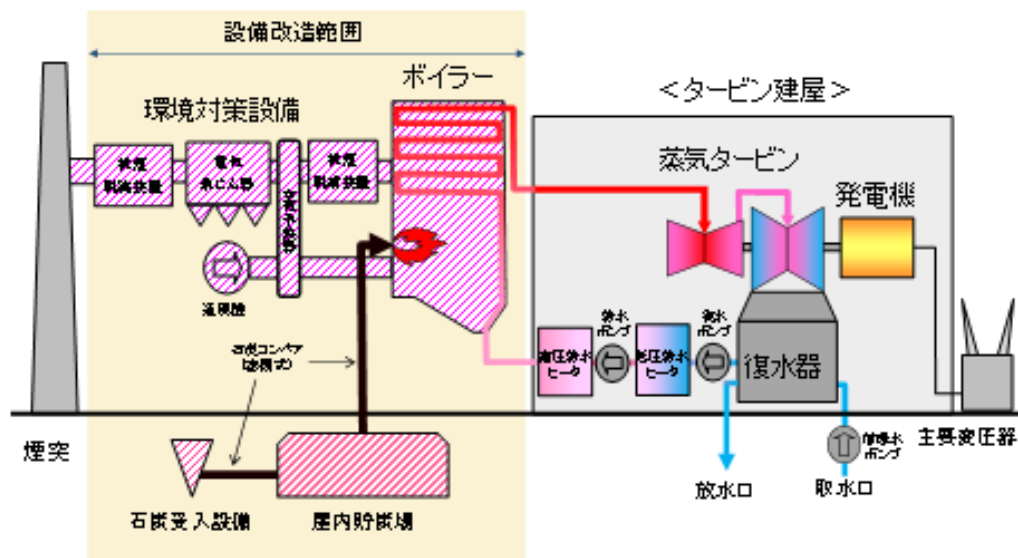
<参考：燃料転換計画（当初）の概要>

- ・発電設備のうち、ボイラー、燃料設備^{※1}、環境対策設備^{※2}について、石炭が利用できる設備に改造を行う。
- ・その他の蒸気タービン、発電機、煙突、取放水口等については、既存の設備を流用するため、石炭火力電源の新設に比べて、投資額の抑制や早期運開が見込める。

※1：揚運炭設備（ベルトコンベアなど）・貯炭設備（石炭サイロなど）

※2：脱硫装置や脱硝設備、電気集じん器など

<参考：発電所設備の概念図>



以上